

『AEDを知っていますか？』

今年は【救急の日】である9月9日を含む、9月5日から11日までの1週間が【救急医療週間】となります。AEDは、ご家族・職場の仲間が急に倒れた時、または倒れている人を見かけたときに強い味方となります。この機会にご自宅や職場の近くのAEDの場所を確認してみましょう。



■AEDとは？

AEDとは、自動体外式除細動器のことです。心臓に電極を貼り付けることで、自動的に心電図を調べて分析し、必要だと判断した場合は、電気ショック（除細動）を与えて、正常な状態に戻す器械です。

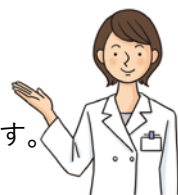
■どんな時に使うのか？

心臓が止まっている可能性のある方に対して、意識がなく、呼吸をしていない時に使用します。倒れている人を見かけたら、①大きな声で呼びかけながら、意識の確認を行います。②反応が無い時は、周りの人に協力を呼びかけ、救急車を呼び、AEDを取りに行ってもらいます。③呼吸の確認を行います。④呼吸をしていない場合、心臓マッサージ（胸骨圧迫）を行います。AEDがある場合は、心臓マッサージとAEDを併せて行います。⑤救急車が到着したら、状況を伝えてください。

新型コロナウイルスが流行している状況では、

倒れているすべての人に感染の疑いがあると考えた対応が必要です。

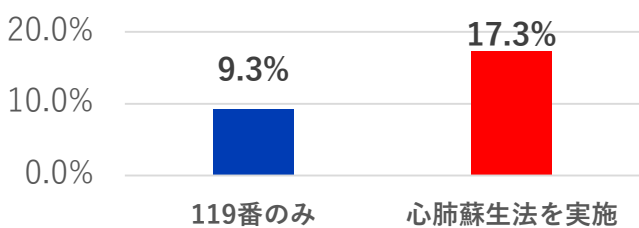
- ・倒れている人がマスクをしていたら、外さずに心臓マッサージを行います。マスクをしていない場合は、口と鼻にハンカチやタオルなどをかぶせてから開始します。
- ・大人の救助では人工呼吸は行わず、心臓マッサージとAEDのみを実施します。



■心肺蘇生法の効果

119番をするだけでなく、心肺蘇生法（心臓マッサージ・人工呼吸・AED）を行うと、救命率は非常に高くなります。

表：一般市民が心肺蘇生等を行った場合の1か月後の生存率



出典：総務省 報道資料「令和2年度版 救急・救助の現況」の公表

●心肺蘇生法にAEDを使用すると

心肺蘇生法にAEDを使用すると、1か月後の生存率は、53.6%と非常に高くなります。心肺蘇生法を受けた傷病者のうち、AEDを使用した方の割合は、1割弱でした。

AEDを使用した心肺蘇生法を行うことが、大切な人の命を守ることにつながります。

■AEDはわかりやすい

AEDのフタを開けると、わかりやすいイラストと大きな文字で使用方法が書かれています。音声ガイダンスも流れますので、指示に従ってください

■AEDの使用方法をホームページで確認してみましょう

AEDの具体的な使用方法は、さまざまなサイトで公開されています。使用方法を確認してみてください。



【引用・参考】

厚生労働省 [新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた市民による救命蘇生法について\(指針\)](#)
日本医師会 [救命蘇生法](#)